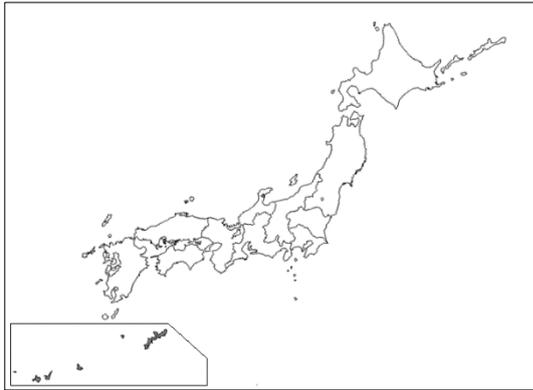


(12) 沖 縄



沖縄地域では、景気は回復している。

- ・ 観光は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は改善の動きがみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

前回からの主要変更点

なし

1. 観光の動向

観光は持ち直している。

7－9月期の入域観光客数は、前年同期比27.2%増(2019年同期比20.6%減)となった。国内客は同9.0%増(同4.5%減)となり、外国客は318千人(同60.4%減)となった。月別でみると、7月は前年同月比28.1%増(2019年同月比19.2%減)、8月は同13.7%増(同28.7%減)、9月は同43.5%増(同12.3%減)、10月は同25.0%増(同7.4%減)となった。

7－9月期のホテル稼働率は、前年同期差5.3%pt増となった。



入域観光客数等の動向

	2023年			2023年
	1-3月	4-6月	7-9月	10月
入域観光客数(千人)	1,896	1,978	2,218	788
(前年比、%)	131.4	57.7	27.2	25.0
国内観光客数(千人)	1,744	1,764	1,899	673
(前年比、%)	112.8	40.6	9.0	7.1
国外観光客数(千人)	152	214	318	116
(前年比、%)	皆増	皆増	318, 100.0	4, 177.8
ホテル稼働率(%)	64.3	62.2	64.7	—
(前年差、%pt)	34.1	15.6	5.3	—

(備考) 1. 入域観光客数、国内観光客数、国外観光客数は沖縄県観光政策課調べ。2023年8月、9月、10月は速報値。

2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

3. ホテル稼働率の前年差については、内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

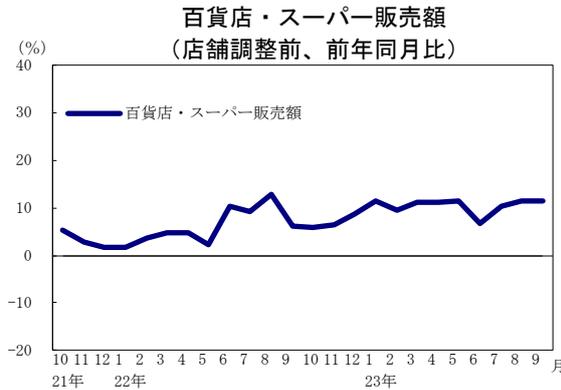
個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7-9月期は前期比 1.3%減となった。月別にみると、7月は前月比 1.2%増、8月は同 1.4%減、9月は同 0.7%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、7-9月期は前年同期比 11.1%増となった。月別にみると、7月は前年同月比 10.4%増、8月は同 11.4%増、9月は同 11.3%増となった。



	2023年7-9月	2023年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	▲1.3	1.2	▲1.4	▲0.7
百貨店・スーパー(*2)	11.1	10.4	11.4	11.3
コンビニ(*2)	11.1	11.2	9.7	12.6
乗用車(*3)	10.9	4.9	0.9	28.9
(季節調整値)(*3)	▲12.6	▲23.5	▲9.4	36.9

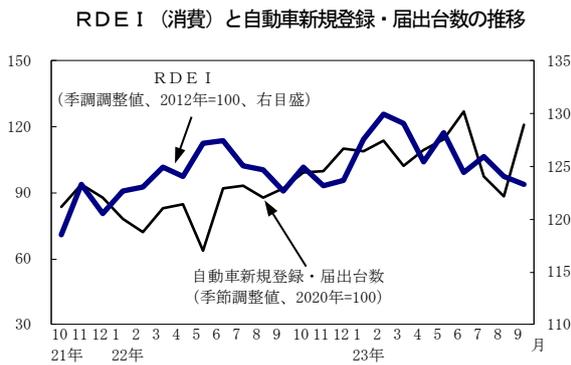
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは経済産業省調べ (店舗調整前)。

コンビニは日本銀行那覇支店調べ。

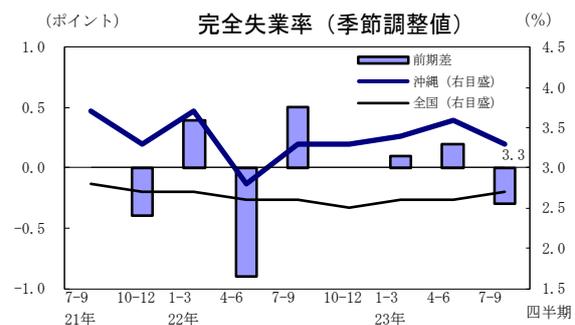
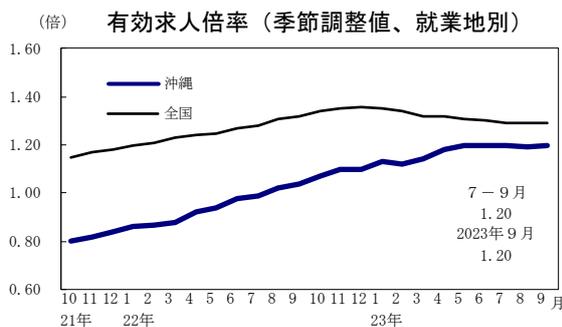
3. 乗用車は、乗用車新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善の動きがみられる。

有効求人倍率はこのところおおむね横ばいとなっており、前回の景気循環の平均的な水準にある (P10 参照)。一般労働者の定期給与は上昇している (P10 参照)。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 沖縄県「労働力調査」の月次値を、内閣府にて四半期平均化。

(13) 景気ウォッチャー調査（令和5年10月調査）景気判断理由の概要

12. 沖縄

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野	判断	判断の理由	
現状	家計 動向 関連	□	・個人客については来客数が落ちている様子はない（乗用車販売店）。
		○	・今月は、秋休み需要などにより、前月に引き続き好調に推移している。酒、飲料などで値上げがあったものの、客が度重なる値上げで慣れたこともあるのか、売上は好調に推移している（スーパー）。
		◎ ▲	・今秋も無料で新型コロナウイルスワクチンの接種が始まり、新型コロナウイルスの新規感染者数も減っている。今後期待できる（一般小売店 [酒]）。 ・3か月前とさほど来店客数の増減はないが、客単価は下落している。相次ぐ値上げ商品においては、確実に販売数が落ち込み、消費も鈍化している（コンビニ）。
	企業 動向 関連	○	・数年前から相談を受けていたリゾートホテルや大きな開発の案件が最近になり具体的に動き出してきている（建設業）。
		□	・基幹産業である観光業を中心に景気は回復基調にある。ただし、原材料費、人件費の高騰を十分にカバーできる状態には至っていないと見受けられる（会計事務所）。
		— —	— —
雇用 関連	○	・IT業界は慢性的な人手不足で、業務的には新たな案件が増えていることもあり、採用枠を増やしている企業が多い。まだ採用枠に達していない企業も多く、継続的に人材に関する問合せがある（学校 [専門学校]）。	
	□	・前年比で増加傾向のあった求人数について、ここ最近では横ばい傾向に変わってきている（職業安定所）。	
その他の特徴 コメント		○：ホテルの7月の販売室数が前年比7%減少に対し、10月の販売室数は同比6%減少となり、マイナス幅が小さくなっている（観光型ホテル）。 □：今月は前半は余り良くなかったが、後半に入り観光客の来客数が増えている（衣料品専門店）。	
先行き	家計 動向 関連	□	・手配も増えてきているが、旅行代金が高くなっており、全国旅行支援も一通り終わったので今後は伸び悩みそうである（旅行代理店）。
		○	・歓送迎会や忘年会の問合せが増えてきている（一般レストラン）。
	企業 動向 関連	○	・見積り依頼で民間工事は横ばいの状況だが、公共工事が増加傾向であり下期は受注増加が期待できる（窯業土石業）。
		□	・人件費や資源価格の高騰を受け、県内企業の事業収益は厳しい状況が続いており、販売促進予算は微減又は現状維持となっている（広告代理店）。
	雇用 関連	○	・県内観光業が活発になり潤って景気が良くなる。しかし、人手不足は否めない（人材派遣会社）。
		□	・人手不足による事業廃止の相談が増えている（職業安定所）。
その他の特徴 コメント		○：陶器に関しては11月は祭りも多く年末年始までは繁忙期だとみている。客先からは単価が低めで小さい物が国内客、海外客を問わず売れると聞いている（その他専門店 [陶器]）。 □：建築資材や労務費が高止まりしており、客の住宅などへの建築購入意欲が後退している（住宅販売会社）。	

(D I) 現状・先行き判断D I（沖縄）の推移（季節調整値）

